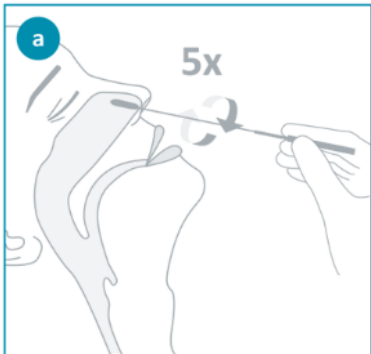
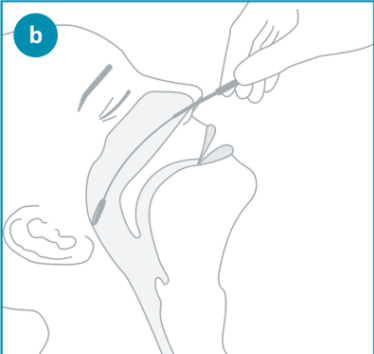
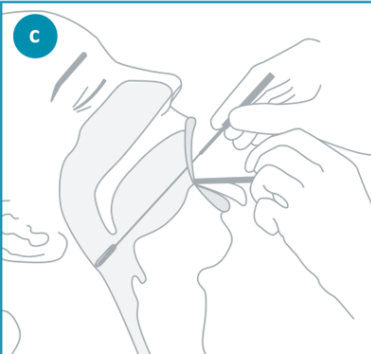

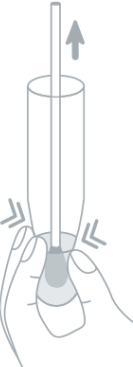

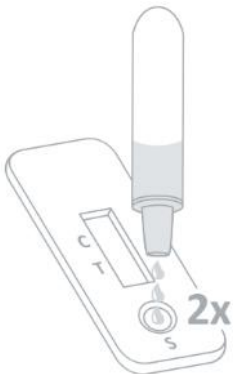





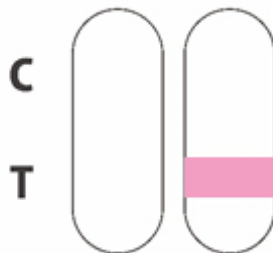
操作手順

	<p>① 内容物の確認 内容物が全て揃っている事を確認してください。</p> <table border="0"> <tr> <td>① ご案内</td> <td>1 枚</td> </tr> <tr> <td>② スクリーニングデバイス</td> <td>1 個</td> </tr> <tr> <td>③ スワブ</td> <td>1 本</td> </tr> <tr> <td>④ チューブ</td> <td>1 本</td> </tr> <tr> <td>⑤ チューブキャップ</td> <td>1 個</td> </tr> <tr> <td>⑥ チューブ立て</td> <td>1 個</td> </tr> <tr> <td>⑦ 検査液</td> <td>1 個</td> </tr> </table> <p>※ スクリーニングデバイスは開封後、1 時間以内に使用してください。</p>	① ご案内	1 枚	② スクリーニングデバイス	1 個	③ スワブ	1 本	④ チューブ	1 本	⑤ チューブキャップ	1 個	⑥ チューブ立て	1 個	⑦ 検査液	1 個
① ご案内	1 枚														
② スクリーニングデバイス	1 個														
③ スワブ	1 本														
④ チューブ	1 本														
⑤ チューブキャップ	1 個														
⑥ チューブ立て	1 個														
⑦ 検査液	1 個														
	<p>② 検査前にまず、鼻をかみます。</p> <p>※ この際に鼻血が確認された場合は、時間を置いてから検体採取をしてください。</p>														
	<p>③ 検査液の入ったボトルの上部をひねり開封します。</p>														
	<p>④ チューブ(キャップ付き)をチューブ立てに立て、「③」で開封した検査液を全量入れます。</p>														

		<p>⑤ スワブを使って検体を採取します。</p> <p>※ スワブを採取部位に当て、約 15 秒間しっかりと採取します。</p> <p>※ 鼻腔の場合、左右両方から採取してください。</p>
	<p>a:鼻腔 b:鼻咽頭 c:咽頭</p> <p>どの部位でも検査可能です</p>	
	<p>⑥ チューブ下部を指で 5 回以上(10~15 回を推奨)押し、サンプルと検査液が完全に混ざり合うようにします。</p> <p>※ 唾液と検査液が完全に混和されていないと十分な結果が得られない場合があります。そのため、完全に混和するまで本操作を繰り返してください。</p>	
	<p>⑦ 「折線」の位置でスワブを折り、指でスワブ先端を抑えながらスワブを取り出します。(スワブの先端についた検査液をチューブに残すため。)</p>	
	<p>⑧ 付属のキャップを取り付けます。</p>	

	<p>⑨ スクリーニングデバイスの包装を開け、清潔で水平な面に置きます。スポイトキャップのついたチューブを逆さまにして、検体ウェル(S)に 2 滴たらしめます。</p> <p>※ 判定領域への浸透が遅い場合、追加で 2 滴たらしめてください。</p>
	<p>⑩ 検査結果は 15 分で検査結果が得られます。</p>

新型コロナウイルス抗原検査の結果の見方

		
<p>陰性 (Cに線が現れます)</p>	<p>陽性 (2本の線が現れます)</p> <p>※Tエリアの色はウイルス核タンパク質の濃度に依存します。 線が薄くても現れた場合は全て陽性となります。</p>	<p>検査無効 (Cに線がない)</p> <p>※手順を確認し、新しいテストキットでテストをやり直してください。不十分な検体量、不適切な操作手順などの原因により、制御ライン(C)に線が現れず検査無効となった可能性があります。</p>